

日本農業気象学会東北支部会員各位

日本農業気象学会東北支部事務局

2013年支部大会のお知らせ

下記要領で、2013年度日本農業気象学会東北支部大会を開催致します。1日目にはシンポジウムの予定が組まれております。皆様是非ご参加下さいませよう、ご案内申し上げます。

■日時：

8月31日（土）12:00 ～9月1日（日）12:00

■会場：

アイーナいわて県民情報交流センター 8階 会議室802
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通り一丁目7番1号

※アクセス/JR盛岡駅から徒歩4分（東西自由通路からマリオス前交通広場を經由し、盛岡駅本宮線を横断して3階玄関から入館）・1階は南又は東玄関から入館/東北自動車道盛岡ICから車で8分

■日程

<第1日目>8月31日（土）

12:00～13:00 支部評議員会

13:15～17:00 シンポジウム「第1部：セミナー【新しい研究・技術の展開】、
第2部：温暖化フォーラム【気候変動への適応と対策】」

18:00～ 情報交換会（参加費：5,000円程度、盛岡駅付近予定）

尚、9:30～12:00、同会議室において、日本農業気象学会理事会が開かれます。

<第2日目>9月1日（日）

9:00～11:20 一般研究発表

11:20～11:50 総会

■日本農業気象学会東北支部2013年大会シンポジウム（案）

第1部：セミナー【新しい研究・技術の展開】（13:15～14:45）

大政謙次（東京大学）

「植物機能リモートセンシングとフェノミクス研究への展開」

小沢 聖（明治大学）

「Machine-to-Machine から Man-to-Man に：ICT 養液土耕を用いた復興支援」

第2部：温暖化フォーラム【気候変動への適応と対策】（15：00～17：00）

廣田知良（北海道農研）

「土壌凍結深制御による野良イモ対策技術の開発プロセス」

下野裕之・岡田益己（岩手大学）

「気候変動に適応する寒冷地稲作の戦略」

小林和彦・藤澤茉莉子（東京大学）

「りんご農家は気候変化にどう適応してきたか：長野と秋田での事例研究から」

■参加、発表（発表タイトル）、情報交換会への申し込み：

参加される方は、8月21日(水)までに、支部事務局川方（kawakata@affrc.go.jp）まで、下記項目をご記入の上、このメールへの返信にてお申し込みお願い致します。なお、宿は盛岡駅前等、各自で確保下さいませよう、お願い申し上げます。

-----日本農業気象学会東北支部 2013 年大会参加申込書-----

お名前、所属、メールアドレス（ご記入お願いします）

評議員の方：支部評議員会 に、参加します、しません（どちらかお選び下さい）

シンポジウムに、参加します、しません（どちらかお選び下さい）

情報交換会に、参加します、しません（どちらかお選び下さい）

研究発表、します、しません（どちらかお選び下さい）

発表タイトル（研究者）：（発表される方は、タイトル、研究者名をご記入願います）

■研究発表方法について

研究発表時間は、発表数によりますが、おおむね15分程度を予定しています。発表方法は、特に決めていませんが、パソコン発表用の液晶プロジェクターとMSパワーポイント2010内蔵のノートパソコンをご用意いたしますので、ご利用下さい。

後日、講演要旨は、会誌「東北の農業気象」に掲載します。当日、会場で配布しますので、参加者分の原稿をご持参して頂ければ幸いです。講演要旨の様式は、会誌「東北の農業気象」の本文、投稿規定の2. 投稿の種類6、5. 講演要旨 等をご参考願います。発表者申込者には追って、e-mail でプログラム等をお知らせいたします。

事務局連絡先

川方俊和 kawakata@affrc.go.jp

（独）農業・食品産業技術総合研究機構

東北農業研究センター 生産環境研究領域

TEL: 019-643-3594 FAX: 019-641-7794